



震災による清掃作業時は感染症にもご注意ください

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。被災地での被災者支援や復旧・復興活動に従事される方は、家屋の清掃時のケガや粉じん等が原因で感染症を発症する恐れもあります。ご自身と被災地を守るために、感染症を持ち込まない、広げないよう、感染対策を行いましょう。

-傷口からの感染対策-



丈夫な手袋や、底の厚い靴などを着用

長袖・長ズボンなど肌が見えない服装を着用

特にがれき撤去等の野外作業を行う際は、肌の露出を少なくし、ケガをしないようにしましょう。ケガをした場合は、傷口を流水で洗浄し、消毒をしましょう。特に深い傷や汚れた傷は破傷風になる場合があり、医療機関で適切な治療を行わないと死亡することもあるため、医師に相談をしましょう。

-土ほこり・粉じんからの感染対策-



ゴーグル・マスクを着用

作業後には手洗い



土ほこりが目に入って結膜炎になったり、口から入ってのどや肺に炎症を起こすこともありますので、目や口を保護することが重要です。特に粉じんを吸入するおそれのある作業については、防じんマスク（なければ不織布マスク）などを着用することが望ましいです。目に異物が入った場合は、目を洗浄しても、充血が起きている場合などは医師に相談をしましょう。

感染対策も含め体調管理には十分に注意し、作業中はのどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補水液などを補給しましょう。また体調不良時は無理をせず活動を中断し、できる限り涼しい時間帯に活動を進めるようにしましょう。

定点 種別	疾患名	状況	30週(7/20～7/26)		31週(7/27～8/2)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	5	0.23	1	0.04
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		31	1.41	38	1.65
	急性呼吸器感染症(ARI)		879	39.95	815	35.43
小児科	RSウイルス感染症		7	0.54	7	0.50
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	1	0.08	4	0.29
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	16	1.23	27	1.93
	感染性胃腸炎	—	40	3.08	31	2.21
	水痘(みずぼうそう)	—	3	0.23	3	0.21
	手足口病	—	35	2.69	20	1.43
	伝染性紅斑(りんご病)	—	2	0.15	3	0.21
	突発性発しん		9	0.69	11	0.79
	ヘルパンギーナ	—	8	0.62	8	0.57
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	2	0.14
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	5	1.00	2	0.40
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		4	0.80	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし